

# 支援実習プロジェクト

本プロジェクトでは、平成 23 年度から本格実施となった支援実習の企画・運営に取り組んでいます。以下では、プロジェクトにおける具体的な活動内容をご紹介します。

## 1. 支援実習の目的

県内学校の実践と継続的にかかわり、学校行事や学習を支援し、指導者や地域の人々とともに問題解決の方法を探ることを通じて、教育に必要なコミュニケーション能力と学校教育の課題を克服する実践的指導力を高めることを目的としています。

## 2. 受講学年、支援実習の単位数など

支援実習は、教育学部在籍学生のうち、2 年生以上の希望者が受講しています。単位数は、「支援実習Ⅰ」2 単位、「支援実習Ⅱ」2 単位の合計 4 単位となり、集中講義扱いで開講しています。

## 3. 活動内容

田野小学校プロジェクト、名野川小学校プロジェクト、大豊町中学校プロジェクトの 3 つのプロジェクトを立ち上げ、活動を行っています。

### ・田野小学校プロジェクト、名野川小学校プロジェクト

「支援実習Ⅰ」では、学校行事等への参加、教員の活動等の補助、教員等の講話の聴講を行います。これらの活動を行ったあとは、「まなびフォーリオ」と呼ばれる振り返りシートに、活動内容をまとめ、省察を深めるとともに、次の活動に向けての課題を明らかにしていきます。

「支援実習Ⅱ」では、「支援実習Ⅰ」での活動に関するビデオ作品を制作しています。ビデオ作品を作るために、各回の活動内容を受講者自身によって映像や写真におさめていきます。

### ・大豊町中学校プロジェクト

「支援実習Ⅰ」では、「選択理科」の授業に参加し、教員の活動等を補助しながら、地域の自然を素材とした環境教育を、現場教員、大学教員、専門家、学生のコラボレーションによって展開します。

「支援実習Ⅱ」では、「支援実習Ⅰ」での活動のまとめおよび省察として、プレゼンテーションファイルやレポートの作成等を行います。

## 4. 実践的指導力の向上にむけて

「まなびフォーリオ」やビデオ作品、プレゼンテーションファイル等の制作を通じて、受講生は、各活動についての省察を深めていきます。支援実習では、活動と省察の往還を通じた実践的指導力の高まりを目指して取り組んでいきます。